



# 「坂の上の雲」を軸とした 21世紀のまちづくりの取り組み

平成18年2月

松山市  
坂の上の雲まちづくりチーム

# 「坂の上の雲」のまちづくり

21世紀の地方の発展・自立は、都市の個性と魅力で勝負

地域資源の再評価と有効活用

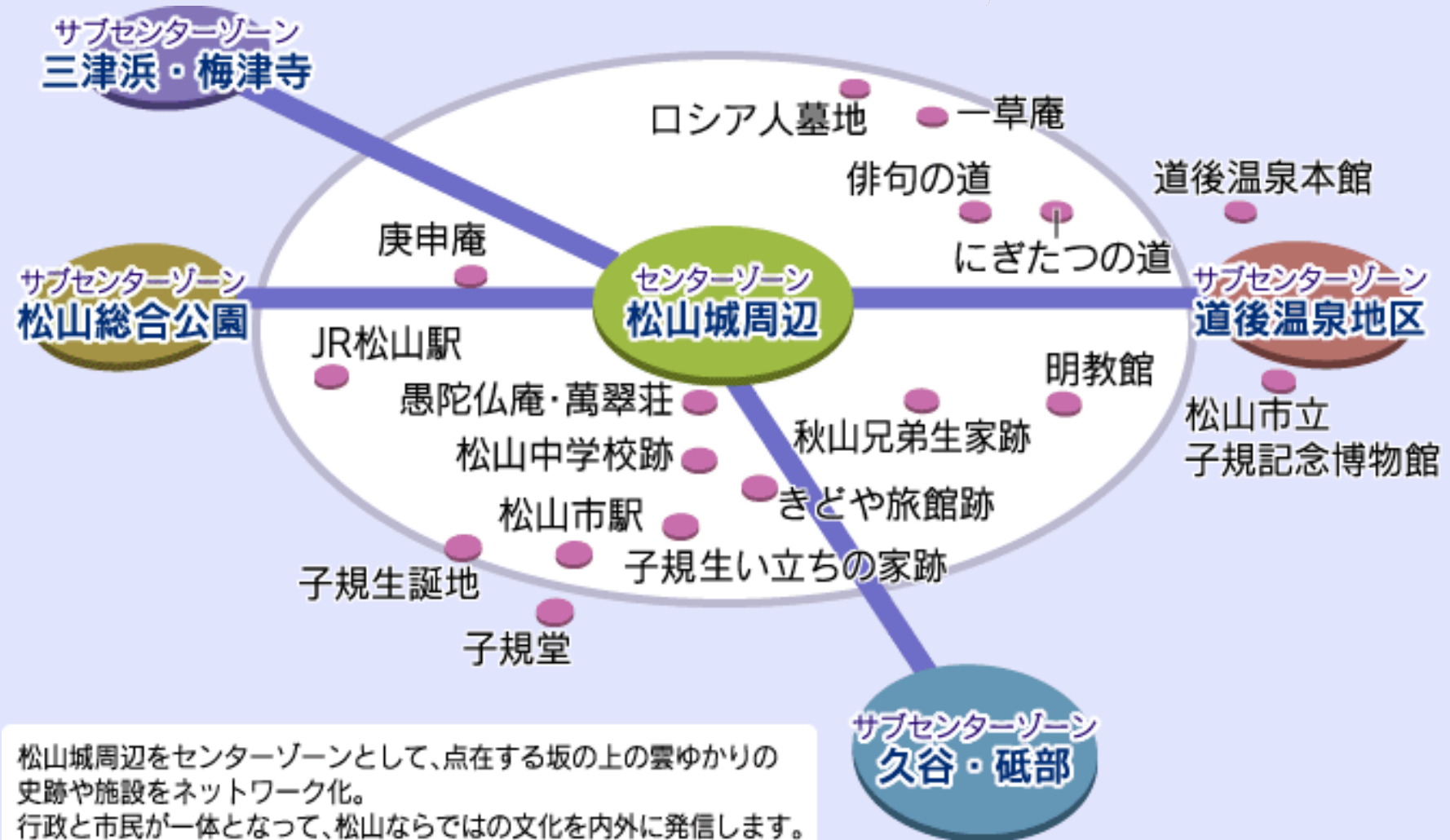
松山出身の3人を主人公とした小説「坂の上の雲」に着目  
〈正岡子規、秋山好古、真之兄弟〉

有形・無形の地域資源を観光まちづくりに活用

「坂の上の雲」フィールドミュージアム構想

松山全体が一つの博物館！

# 「坂の上の雲」 フィールドミュージアム構想





### 松山城

松山市の中心部、勝山(標高132m)にそびえ立つ松山城は松山市のシンボルとして市民に親しまれ、本丸広場は桜の名所で市民の憩いの場となっている。松山城の築城者は、賤ヶ岳の合戦で有名な七本槍の一人、加藤嘉明である。嘉明が25年(1602~1627)の歳月をかけて築いた松山城は、勝山山頂に本丸・中腹に二ノ丸・山麓に三ノ丸を整備した広大な規模の城郭である。また、門櫓・塀を多数備え、狭間(鉄砲・弓)や石落とし、高石垣などを巧みに配した攻守の機能に優れた日本一の連立式平山城と言われている。



## 道後温泉本館

日本書紀にも登場するわが国最古の温泉。どっしりとした構えの本館上の振鷺閣(しんろかく)には、伝説の白鷺を据え、また、毎朝6時に太鼓の音で開館を告げるなど、歴史ある温泉情緒をかもしだしている。

館内には「神(かみ)の湯」、「霊(たま)の湯」、漱石ゆかりの「坊っちゃんの間」や、さらに皇族専用浴室の「又新殿(ゆうしんでん)」などがある。また、夜になるとガス灯に火が灯され、朝や昼とはまた違った道後温泉本館の姿を見せている。



### 子規記念博物館

松山市立子規記念博物館は、正岡子規の世界をとおして、より多くの人びとが松山に親しみ、松山の伝統文化や文学についての認識と理解をふかめ、あたらしい文化の創造に役立てることを目的として開設された文学系の博物館。市民の知的レクリエーションや学校の課外学習の場、研究者の研究機関、観光客のビジターセンターとして親しまれている。



## 坊っちゃん列車

子規や漱石、そして多くの人たちを  
乗せてガタゴト、ガタゴト。明治21年から  
昭和29年まで松山平野の人気者だった  
坊っちゃん列車が、21世紀の城下町に  
蘇りました。

たくさんの夢と希望を乗せて走る  
坊っちゃん列車。

## 坊っちゃん文学賞

松山市は正岡子規、高浜虚子など多くの俳人を輩出、また、夏目漱石の代表作「坊っちゃん」の舞台となった地としても全国に知られている。

「坊っちゃん文学賞」は、このような文学的背景を持つ松山市が新しい青春文学の創造を目指し、1989年の市政100周年を機に創設した文学賞である。

作品は隔年で募集し、大賞ならびに佳作作品を決定している。

過去の受賞作品は単行本化、TVドラマ化、映画化されるなどいずれも大きな注目を集めている。

### 坊っちゃん文学賞



もうすぐ、吾輩は作家である。

せつかく小説を書いても、友達に見せたり、ホームページにアップするだけじゃつまらない。どんだん公募に出そう。それは、本物の作家になるための第一歩だ。きのうまでは無名の女子大生が、「説明けてみれば一躍大先生に」なんてことだって、夢じゃない。「坊っちゃん文学賞」は、松山市が、まったく新しい青春文学の創造を目指して創った新人作家の登竜門だ。スケールの大きい本格派のチャレンジを待っている。明日は、作家だ。

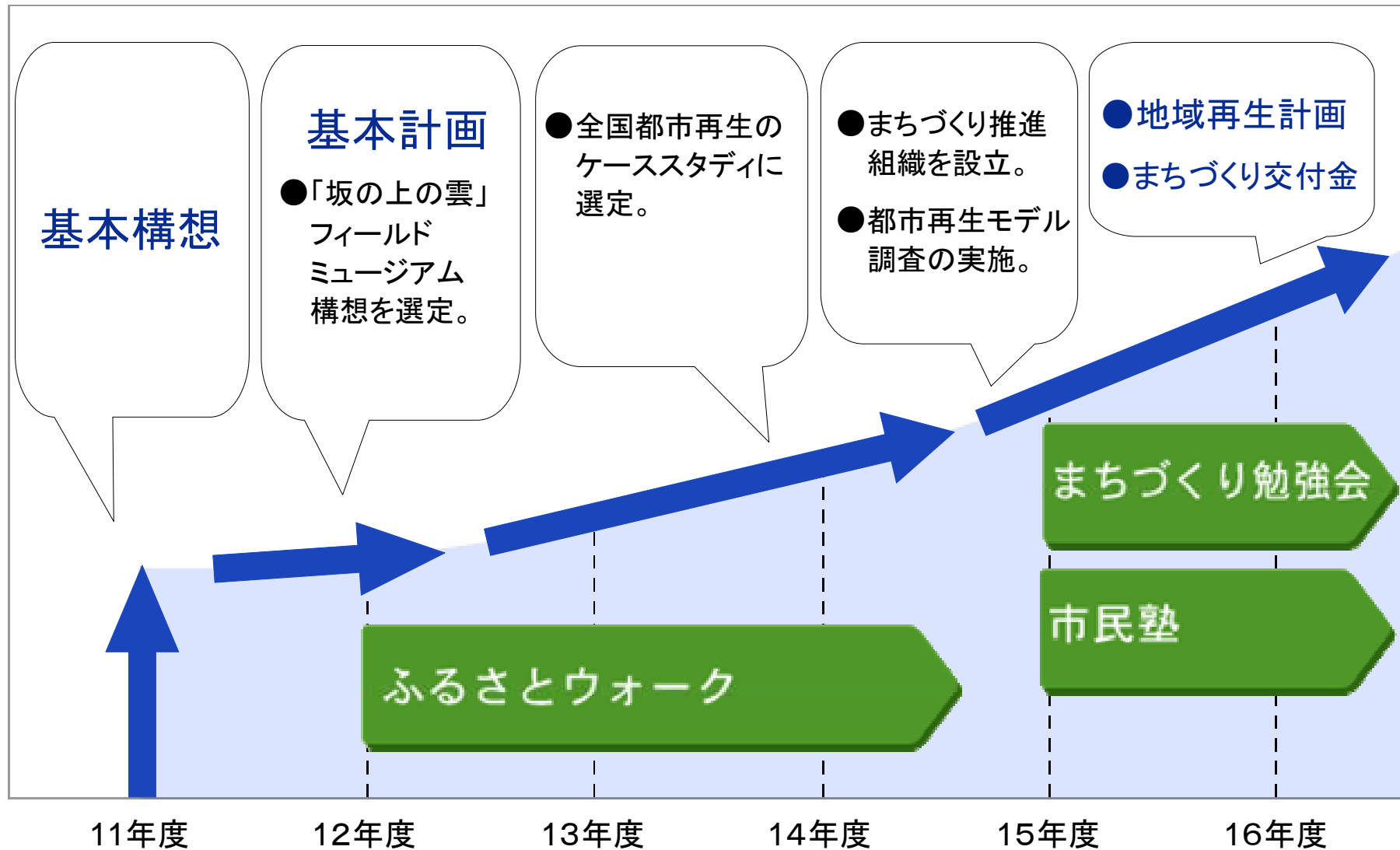




## 松山俳句甲子園

全国各地から俳句という文学を介して高校生達が松山に集い、力のある日本語表現の創出、操る能力の向上、将来的な日本俳句文学の興隆のみならず、高校生相互の文化的交流、更には大会に関わる異世代との社会的交流を深め、豊かな人間性を育むことを目的として開催している。

# 「坂の上の雲」のまちづくりの取り組み



# 第5次総合計画(都市づくり基本方針)

まちづくり基本理念  
「坂の上の雲」を目指して

めざす将来像

憧れ 誇り 日本一のまち 松山

推進姿勢

みんなで作ろうみんなの松山

# (仮称)『坂の上の雲』記念館建設

新たな魅力拠点や市民・観光客が交流し、市民活動を活性化させる活動拠点となる中核拠点を整備し、『坂の上の雲』フィールドミュージアムの核となる施設を形成する。(H19年 春 開館予定)



# ロープウェイ街の整備

- ・センターゾーンの玄関口に位置づけられるロープウェイ街で、通りに面した建物のファサード整備や電線類地中化、道路景観整備により、統一感のある美しい町並に整備。(H18年3月末完成予定)
- ・城山観光の拠点でもあるロープウェイ駅舎の改築は、地域とのつながりをもって観光客や市民の交流が生まれる場を形成する。(H18年3月5日落成)



外観イメージベース（松山市ロープウェイ東雲口駅舎）

# 秋山兄弟生誕地の整備

・小説『坂の上の雲』の主人公、秋山兄弟を顕彰するため、市民団体が生家の復元を行った。建設費に充てる募金活動は、約1万人の市民から1億円以上になる。

(H17年1月一般公開)

・所在地:松山市歩行町2丁目3番地6 建築主:(財)常盤同郷会 敷地面積:829.74㎡  
施設内容:住居(生家)棟95.65㎡(28.93坪)、東家、秋山好古騎馬像、秋山眞之胸像



# <H15,16,17年度モデル調査①> 道後旧歓楽街にぎわい再生調査事業

## ●概要

### 【実施団体】

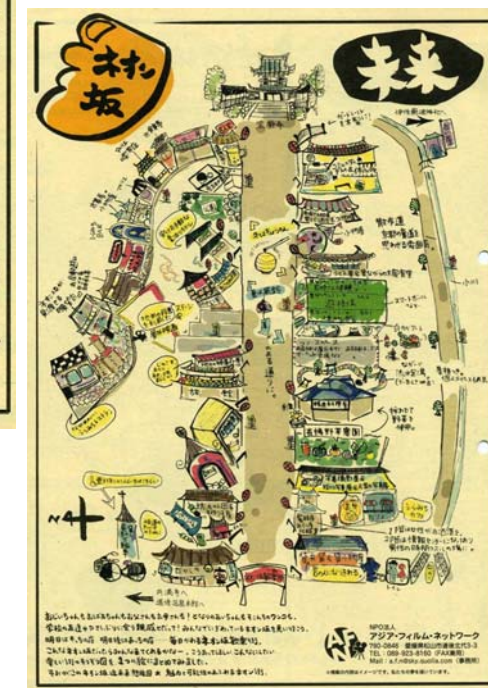
NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク

### 【活動目的】

地域の魅力再発見・再評価

### 【活動内容】

旧朝日楼の再生を中核に据えたネオン坂への賑わい創出を实践する活動



# <H15,16,17年度モデル調査②>

## 町の財産を活かしたまちづくり —三津浜生活博物館の理念を具現化—

### ●概要

#### 【実施団体】

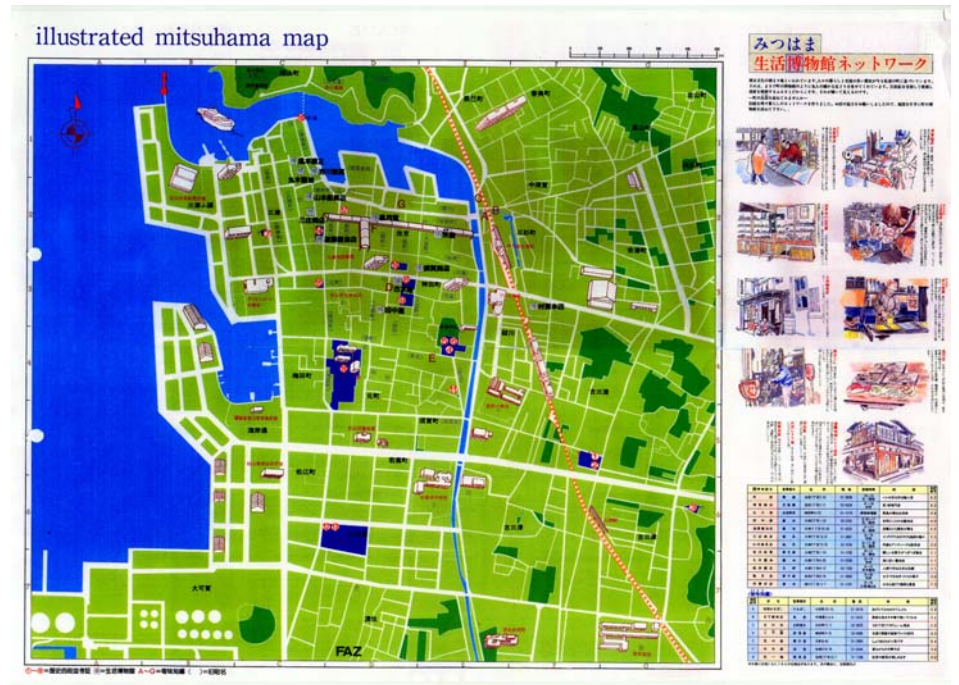
平成舟手組  
(H17.まちづくり月間大臣表彰授与)

#### 【活動目的】

港町、三津浜の町人文化が創り上げてきた財産を再認識し、毎年開催してきた地域住民の手によるフィールドミュージアム『三津浜生活博物館』の理念を具現化すること。さらに若者を中心に三津浜の町へ訪れる人々を増やし、にぎわいを取り戻すことにより町の再生、活力を取り戻すためのきっかけづくりとして本事業に取り組む。

#### 【活動内容】

『町衆協働』というテーマの下、三津浜の町に残る財産(とりわけノスタルジックな趣のある蔵などの魅力的な建造物)を、アーティスティックなギャラリーなどに再生するため、可能性を調査、活用計画づくりを進める。更に、三津浜生活博物館(年2回開催)にストリート系のパフォーマンス(大道芸やミュージシャンのライブなど)を加えるほか、三津浜のお好み焼きなど食文化イベントも同時開催し、三津浜の町に人々を集める、にぎわい再生をめざす。





# < H15,16,17年度モデル調査③ >

## 遍路茶屋でのお接待とルート散策による 里山再生モデル事業

### ●概要

#### 【実施団体】

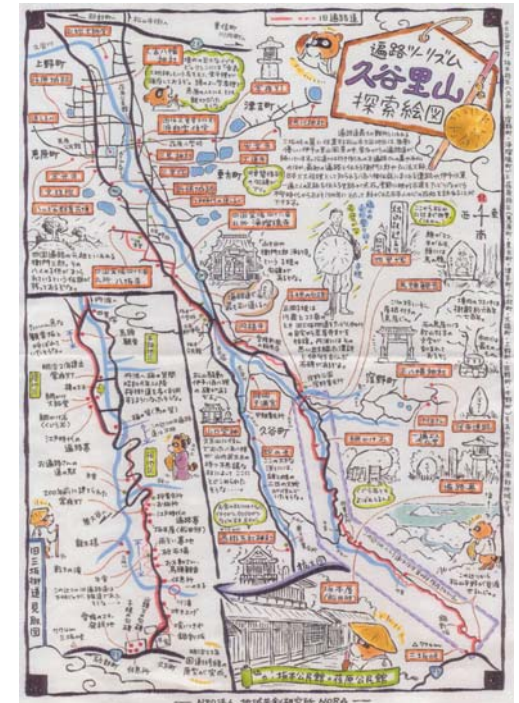
NPO法人地域共創研究所NORA

#### 【活動目的】

久谷地区の豊かな自然環境や遍路文化がある地域性をどのように活かせばより良いまちへと発展してゆくのか？本モデル調査によってテーマを持った地域振興についての一定の答えを見出し、広く伝える。

#### 【活動内容】

1. 久谷地区の遍路道のルートと史跡調査
2. 調査結果の整理と情報地図の作成
3. お遍路インフォメーション茶屋「坂本屋」の利活用
4. 仮説検証実験



# ＜H16,17年度継続モデル調査＞

## ロープウェイ街周辺における地域の財産を活用した賑わいによるまちの再生の実態調査

### ●概要

#### 【実施団体】

まちづくり応援団 SKIP

#### 【活動目的】

まちの有形無形の財産を活用した賑わいの企画・運営を通じた「まちづくり・ひとづくり・賑わいづくり」。

- ・まちの再生のための、まちを愛する担い手づくり
- ・まちの再生のための、ネットワークづくり
- ・まちの再生のための、いろいろな参加者の知識活用

#### 【活動内容】

- ・松山城・ロープウェイ街を中心とした地域の財産を活用した賑わい(参加型)の企画・運営を通じ、若者や周辺住民のまちづくりに対する意識づくり。
- ・地域の財産を活用した賑わいに向けての環境設備およびその効果の調査。
- ・地域の財産を活用した賑わいづくりを通じた行政・民間・企業・NPOなどの交流
- ・駅舎改装後の利用の検討



# <H16,17年度継続モデル調査>

## ・昔話の息づくまちづくりモデル調査 ～お国言葉は文化財～

### ●概要

#### 【実施団体】

青春亭お伽座

#### 【活動目的】

「今世紀に語り継ぐべき松山の『むかし』は何か？」をテーマに、無形の地域資源である昔話の掘り起こしを行い、これらの活動を既存の資源の中で息づかせることで、まちの再発見・再評価の運動を誘発し、『坂の上の雲のまちづくり』を軸とした21世紀のまちづくりにおける、物語のあるフィールドミュージアムの一翼を担う。

#### 【活動内容】

1. 毎週土曜日夜1時間程度の昔話
2. ぶらり道後・語り歩き  
(「ふなやコース」と「大和屋能舞台コース」)
3. 伊予弁で語る昔話 道後温泉本館3階和室 2回
4. 1日バスツアー  
(道後温泉駅—久谷・砥部—三津・梅津寺—松山城—道後)



# <H16,17年度継続モデル調査> ターナー島を軸とする潮騒文化の再生

## ●概要

### 【実施団体】

ターナー島を守る会

### 【活動目的】

高浜町1丁目沖合いの四十島(夏目漱石の『坊っちゃん』で「ターナー島」と名付けられた。)周辺の環境を整備し、高浜地区の文化マップを作成することにより、地区の歴史文化資源に対する住民の認識が覚醒し、活性あるまちづくりに繋げる。

### 【活動内容】

1. 地区の歴史文化資源を示す「高浜潮騒文化マップ(裏面は歴史文化ガイド)」作成。
2. 環境美化に、ターナー島目の「横山の草刈り清掃」を地元住民と地区長寿会会員の協力を得て実施。
3. 高浜潮騒ウォーク、クルージングを実施。
4. 「ターナー島由來說明板」設置。



